



## 平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月5日

上場会社名 株式会社 ニッセイ

上場取引所 東 名

コード番号 6271 URL <http://www.nissei-gtr.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川友之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 阿部正英

TEL 0566-92-1151

四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	14,592	△0.1	528	△22.0	538	△41.2	361	△60.7
30年3月期第3四半期	14,603	10.9	678	227.8	916	380.6	918	74.2

(注)包括利益 31年3月期第3四半期 20百万円 (△97.7%) 30年3月期第3四半期 877百万円 (282.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	13.03	—
30年3月期第3四半期	33.12	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	45,041	42,683	94.8
30年3月期	46,463	43,328	93.3

(参考)自己資本 31年3月期第3四半期 42,683百万円 30年3月期 43,328百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
31年3月期	—	12.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

注)30年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 11円00銭 記念配当 1円00銭

30年3月期期末配当金の内訳 普通配当 11円00銭 記念配当 1円00銭

### 3. 平成31年 3月期の連結業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,600	0.1	830	△14.5	845	△31.7	590	△51.3	21.28

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期3Q	29,194,673 株	30年3月期	29,194,673 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

31年3月期3Q	1,463,543 株	30年3月期	1,463,396 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期3Q	27,731,185 株	30年3月期3Q	27,731,626 株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足資料	9
(1) 経営成績	9
(2) セグメント別売上高、セグメント別営業利益及び海外売上高	9
(3) 設備投資額、減価償却費及び研究開発費	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や設備投資に底堅さが見られ、緩やかな回復が続いております。

また、米国経済は企業収益や雇用環境の着実な回復が続いているものの、今後の貿易政策などに留意する必要があります。中国経済では成長に足踏みが見られ、通商問題の長期化等によって景気が下振れするリスクがあります。

このような状況の中、当社グループにおきましては、国内市場では生産設備の自動化や省人化のニーズにより前年並みとなりました。一方、海外市場ではロボット用歯車が減少したものの、中国や韓国での減速機事業の新規顧客の獲得や設備投資需要の高まりにより堅調に推移しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、14,592百万円（前年同四半期比0.1%減）となりました。

利益面におきましては、営業利益は増産対応に伴う設備投資による減価償却費の増加に加えて、新モデル投入のための費用や広告宣伝費の増加等により528百万円（同22.0%減）、経常利益は営業利益の減少と前期に発生した投資事業組合運用益147百万円がなくなったため538百万円（同41.2%減）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は経常利益の減少と前期に発生した保有株式の売却による特別利益342百万円がなくなったため361百万円（同60.7%減）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### ① 減速機

国内売上は主に物流向けが好調を維持し、自動車向け工作機械も受注に陰りがあるものの堅調に推移したことにより、8,096百万円（前年同四半期比0.9%増）となりました。海外売上はEV向け二次電池製造設備などにより中国、韓国向けの売上が増加し、2,812百万円（同3.7%増）となり、減速機合計は10,909百万円（同1.6%増）となりました。

利益面におきましては、増産対応に伴う設備投資による減価償却費の増加に加えて、新モデル投入のための費用の増加等により、セグメント利益は362百万円（同30.6%減）となりました。

#### ② 歯車

国内売上は自動車用及びロボット用歯車の減少により、3,428百万円（同3.6%減）となりました。海外売上はロボット用歯車の減少により146百万円（同27.2%減）となり、歯車合計は3,574百万円（同4.9%減）となりました。

利益面におきましては、経費の削減により、セグメント利益は101百万円（同15.7%増）となりました。

#### ③ 不動産賃貸

愛知県名古屋市内に賃貸マンション2棟を運営しております。売上高は108百万円（同1.7%減）、セグメント利益は64百万円（同5.2%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は18,272百万円となり、前連結会計年度末に比べ937百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券からの振替により有価証券が1,250百万円増加したことによるものであります。固定資産は26,769百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,359百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が2,224百万円減少したことによるものであります。

この結果総資産は45,041百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,422百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,165百万円となり、前連結会計年度末に比べ742百万円減少いたしました。これは主に従業員賞与引当金が354百万円、未払法人税等が275百万円減少したことによるものであります。固定負債は192百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円減少いたしました。

この結果負債合計は2,358百万円となり、前連結会計年度末に比べ776百万円減少いたしました。

#### (純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べ645百万円減少し、42,683百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境を踏まえ、平成30年11月5日に公表した平成31年3月期（平成30年4月1日～平成31年3月31日）の業績予想を下記の通り修正いたしました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり当期 純利益
					円 銭
前回発表予想(A)	20,000	1,000	1,030	750	27.05
今回発表予想(B)	19,600	830	845	590	21.28
増減額(B-A)	△400	△170	△185	△160	
増減率(%)	△2.0	△17.0	△18.0	△21.3	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	19,579	970	1,236	1,211	43.67

米中貿易摩擦による世界経済への影響が秋口より顕在化しております。これに伴う国内及び海外市場における顧客先の設備投資需要の減退により、売上高は前回予想から下回る見込みとなりました。

この結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益も前回予想を下回る見込みとなりました。

※上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,311	1,389
グループ預け金	5,638	5,089
受取手形及び売掛金	4,135	3,589
電子記録債権	1,103	1,236
有価証券	2,053	3,304
製品	269	385
仕掛品	1,933	2,197
原材料及び貯蔵品	818	1,006
その他	70	72
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	17,334	18,272
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,307	6,093
機械装置及び運搬具(純額)	4,643	4,895
その他(純額)	3,395	3,213
有形固定資産合計	14,345	14,203
無形固定資産	489	442
投資その他の資産		
投資有価証券	12,819	10,595
退職給付に係る資産	—	74
その他	1,477	1,457
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	14,294	12,123
固定資産合計	29,129	26,769
資産合計	46,463	45,041
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	788	773
未払費用	590	651
未払法人税等	297	22
賞与引当金	675	321
役員賞与引当金	21	22
その他	534	374
流動負債合計	2,907	2,165
固定負債		
退職給付に係る負債	43	—
繰延税金負債	99	101
その他	83	91
固定負債合計	226	192
負債合計	3,134	2,358

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,475	3,475
資本剰余金	2,575	2,575
利益剰余金	37,351	37,047
自己株式	△1,286	△1,286
株主資本合計	42,115	41,811
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	968	669
繰延ヘッジ損益	1	2
為替換算調整勘定	223	188
退職給付に係る調整累計額	19	11
その他の包括利益累計額合計	1,213	872
純資産合計	43,328	42,683
負債純資産合計	46,463	45,041

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	14,603	14,592
売上原価	10,871	11,046
売上総利益	3,732	3,546
販売費及び一般管理費		
従業員給料	731	722
賞与引当金繰入額	110	70
役員賞与引当金繰入額	16	22
退職給付費用	22	25
その他	2,173	2,175
販売費及び一般管理費合計	3,053	3,017
営業利益	678	528
営業外収益		
受取利息	25	33
受取配当金	25	25
為替差益	42	—
投資事業組合運用益	147	—
物品売却益	48	52
その他	18	19
営業外収益合計	308	130
営業外費用		
支払利息	0	—
売上割引	57	60
為替差損	—	53
その他	12	7
営業外費用合計	70	120
経常利益	916	538
特別利益		
固定資産売却益	1	1
投資有価証券売却益	342	—
特別利益合計	344	1
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	20	16
減損損失	30	3
特別損失合計	51	21
税金等調整前四半期純利益	1,209	518
法人税、住民税及び事業税	174	24
法人税等調整額	116	133
法人税等合計	291	157
四半期純利益	918	361
親会社株主に帰属する四半期純利益	918	361



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	918	361
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△56	△298
繰延ヘッジ損益	△4	0
為替換算調整勘定	33	△34
退職給付に係る調整額	△14	△8
その他の包括利益合計	△41	△341
四半期包括利益	877	20
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	877	20
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	減速機	歯車	不動産賃貸	合計
売上高				
外部顧客への売上高	10,735	3,758	110	14,603
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	10,735	3,758	110	14,603
セグメント利益	522	87	68	678

(注)セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	減速機	歯車	不動産賃貸	合計
売上高				
外部顧客への売上高	10,909	3,574	108	14,592
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	10,909	3,574	108	14,592
セグメント利益	362	101	64	528

(注)セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 3. 補足資料

## (1) 経営成績

(百万円未満切捨、%)

区分	前期 (H29.4~H29.12)		当期 (H30.4~H30.12)		増減 (当期-前期)		当期予想 (H30.4~H31.3)	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	増減率	金額	売上比
売上高	14,603	100.0	14,592	100.0	△11	△0.1	19,600	100.0
営業利益	678	4.6	528	3.6	△149	△22.0	830	4.2
経常利益	916	6.3	538	3.7	△377	△41.2	845	4.3
親会社株主に帰属 する当期純利益	918	6.3	361	2.5	△557	△60.7	590	3.0

## (2) セグメント別売上高、セグメント別営業利益及び海外売上高

(百万円未満切捨、%)

区分		前期 (H29.4~H29.12)		当期 (H30.4~H30.12)		増減 (当期-前期)		当期予想 (H30.4~H31.3)	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
減速機	国内売上	8,023	74.7	8,096	74.2	73	0.9	11,000	74.3
	海外売上	2,711	25.3	2,812	25.8	100	3.7	3,800	25.7
	計	10,735	100.0	10,909	100.0	173	1.6	14,800	100.0
	営業利益	522	4.9	362	3.3	△159	△30.6	625	4.2
歯車	国内売上	3,557	94.7	3,428	95.9	△128	△3.6	4,460	95.8
	海外売上	200	5.3	146	4.1	△54	△27.2	195	4.2
	計	3,758	100.0	3,574	100.0	△183	△4.9	4,655	100.0
	営業利益	87	2.3	101	2.8	13	15.7	115	2.5
不動産 賃貸	国内売上	110	100.0	108	100.0	△1	△1.7	145	100.0
	海外売上	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	110	100.0	108	100.0	△1	△1.7	145	100.0
	営業利益	68	62.0	64	59.7	△3	△5.2	90	62.1
全社	国内売上	11,691	80.1	11,633	79.7	△57	△0.5	15,605	79.6
	海外売上	2,912	19.9	2,958	20.3	46	1.6	3,995	20.4
	計	14,603	100.0	14,592	100.0	△11	△0.1	19,600	100.0
	営業利益	678	4.6	528	3.6	△149	△22.0	830	4.2

(注) 営業利益の構成比は当該セグメントの売上高比であります。

## (3) 設備投資額、減価償却費及び研究開発費

(百万円未満切捨、%)

区分	前々期 (H28.4~H29.3)	前期 (H29.4~H30.3)	当期予想 (H30.4~H31.3)
設備投資額	1,028	1,720	1,715
減価償却費	1,748	1,668	1,845
研究開発費	418	560	600